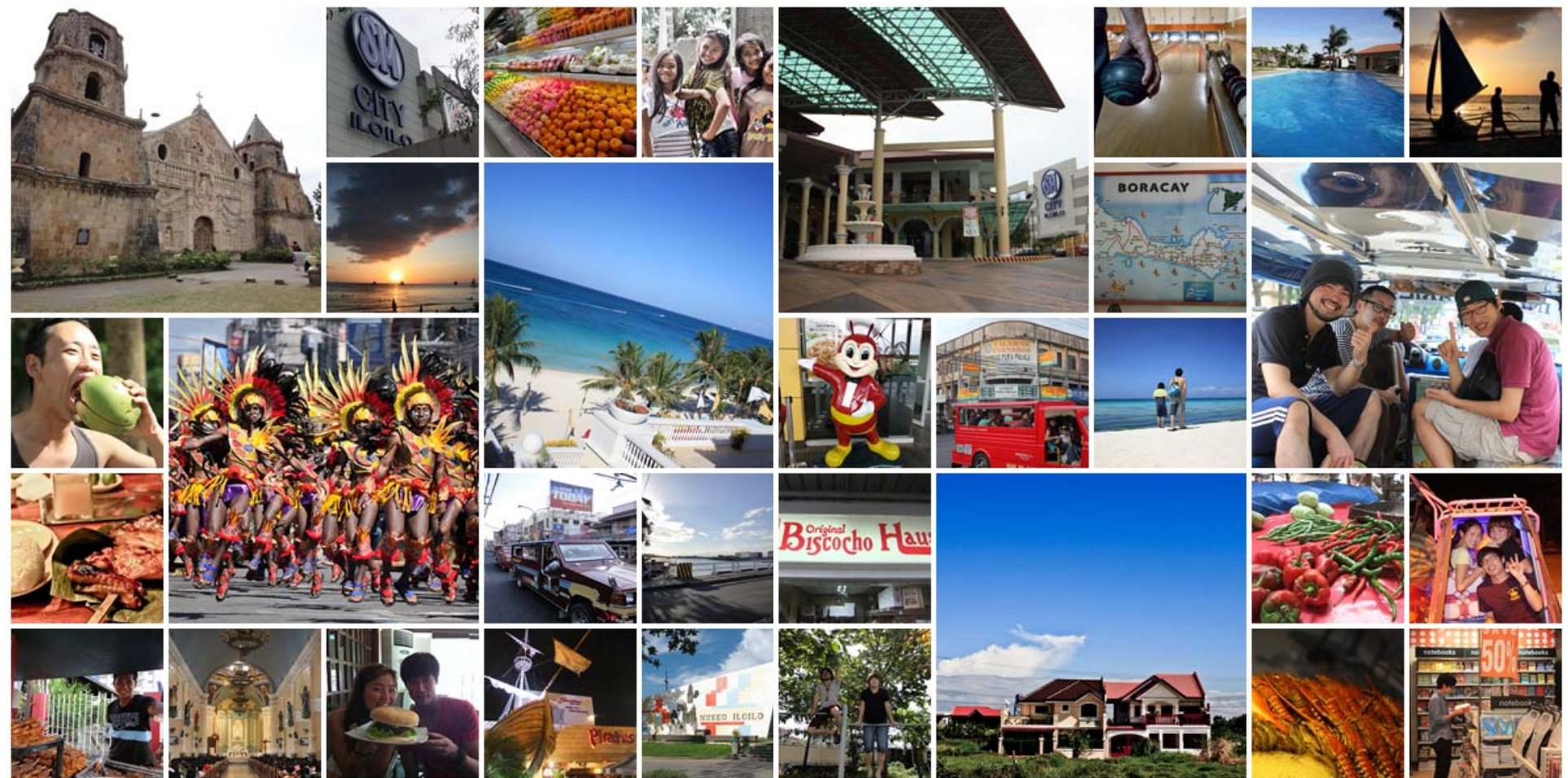


Welcome to ILOILO

第2版【2014.8.1】





CONTENTS

- 1. Iloilo General Information**
- 2. Iloilo History**
- 3. Iloilo Map**
- 4. Iloilo City's Best Known**
- 5. Iloilo Tournalism**
- 6. Iloilo Access**
- 7. Iloilo Directory**

フィリピンの代表的な教育学園都市イロイロ

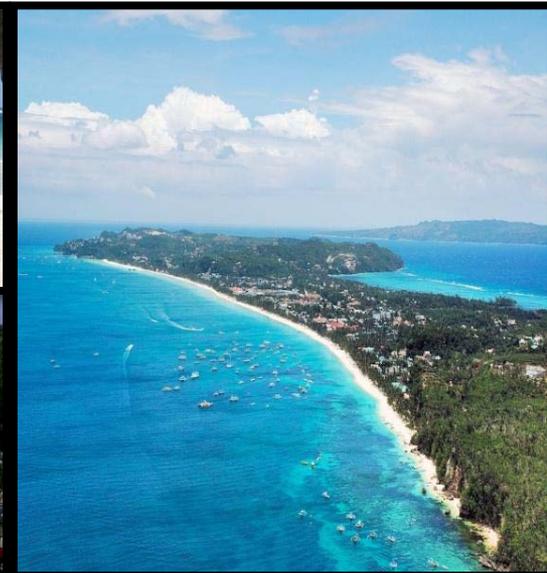
イロイロはフィピン中央部、西ヴィサヤ地方にあるパナイ島の港市。周辺で最も古い歴史をもつ都市で、商工業の中心になっています。人口約42万人(2010年推計)。

イロイロにはフィピンのトップクラスであるフィピン大学や西ヴィサヤ州立大学、CPU大学をはじめとする約40の名門大学・専門学校が集中する代表的な教育学園都市です。学生も多く、講師のレベルも高いので、英語の学習にはこの上ない環境です。

また、イロイロは祭り行事で名高く、ユニークな衣装に全身を黒く塗り、熱狂的なダンスが1日中繰り広げられるディナギャン祭が代表的。ハロ教会、モロ教会、そして世界遺産に登録されたバロック様式のミアガオ教会など、歴史ある教会も多くあり、日曜になると多くの市民が教会へ祈りを捧げに行きます。

空港から程近いサンタバーバラという町には、フィピンで最も古いといわれるイロイロ唯一のゴルフ場があります。

カジノが禁止されており、また汚染が深刻な大都市に比べ緑地比率も高く空気が澄んでいる為、健全で様々なアクティビティが楽しめるきれいで安全な都市です。



Iloilo General Information



MK EDUCATION
International Language School

イロイロはパナイ島4州のうちを中心となる州です。産業は米、サトウキビ、マンゴーなどの農業が基盤ですが、“フィリピンのアラスカ”と呼ばれるまでになった養殖漁業も経済の重要な担い手です。また僅かながら繊維産業もあり、パイナップルの繊維から作るピニャやフシを産しています。ピニャは結婚衣装の素材としてなど人々のあこがれで、軽く、通気性に富み、高級感のある美しさや風格は最高級品としてフィリピンの人々に愛されています。また、長い保存にも耐え、30年以上はそのままの状態を十分保つといわれます。

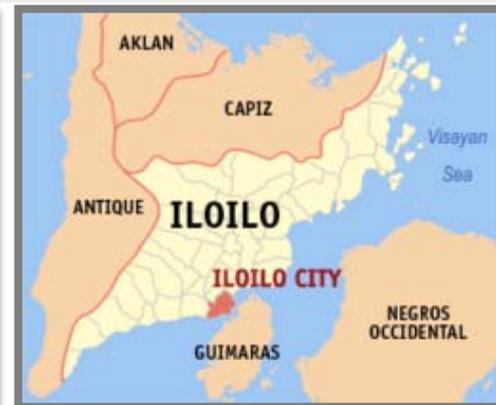
1年に2つの季節があり、6月～10月の雨季と11月～5月の乾季に分けられます。3月～5月が乾季の中で最も暑い時期で、11月～1月下旬までは夜が非常に涼しく過ごしやすいです。

イロイロ市には180のバラングイ(自治体)があり、アレヴァロ(Arevalo)、シティ・プロパー(City Proper)、ハロ(Jaro)、ラパス(La Paz)、マンドウリアオ(Mandurriao)、モロ(Molo)の6つの区にまとめられています。

シティ・プロパーがイロイロ市の政治的・経済的中心部で古からの港町、ハロ・マンドウリアオ・モロは商業地区で、アレヴァロとラパスは住宅地区です。イロイロ最大のショッピングモールであるSM City ILOILO、MK EDUCATIONイロイロはマンドウリアオにあります。

市内での交通は、「タクシー」や4人程乗れるサイドカー付きバイクの「トライシクル」、そして20人程収容可能な乗り合いバス「JEEPNY(ジブニー)」が主な交通手段になります。ジブニーは”THE KING OF ROAD”と言われるほど、フィリピン人の生活に欠かせない公共の交通機関です。

イロイロ市は大都市らしく、約200社に及ぶ銀行と投資会社、保険会社、不動産会社などがあり、複数の大型ショッピングモールやプール、テニスコート、ゴルフ場など多くのスポーツ施設があります。VISA, Master, Diners, American Expressなどの主要なクレジットカードはほとんどのホテル、レストラン、ショッピングモールなどの商業施設で取り扱っています。また教育の都市らしく市内周辺を回ってみると多くの大学などの学校施設を見ることができ、制服を着た大学生もよく見掛けます。



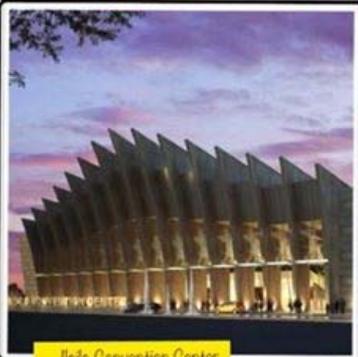
Iloilo General Information



MK EDUCATION
International Language School



Marriott Hotel



Iloilo Convention Center

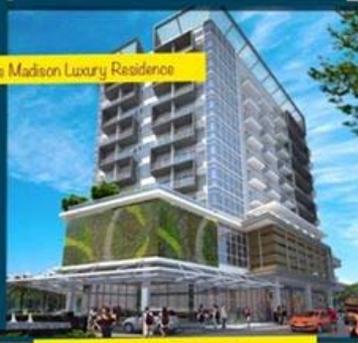


Richmond Hotel Iloilo & Richmond Tower



MEGAWORLD
ILOILO
BUSINESS PARK

Mr. Vincent M. Tajanlangit
AVP Sales & Marketing
(Broker's Division)
Iloilo Business Park
MEGAWORLD Corp.
Pls call 0917-7199777
Email:
vincenttajanlangit@yahoo.com



One Madison Luxury Residence

OWN a Studio for only P16,000/mos.

APEC 2015開催都市として

2015年にフィリピンで開催が予定されているアジア太平洋経済協力会議(APEC)の閣僚会議がここイロイロ市で開催されることもあり、新たなコンベンションセンターやホテルの建設が急ピッチで進んでいます。

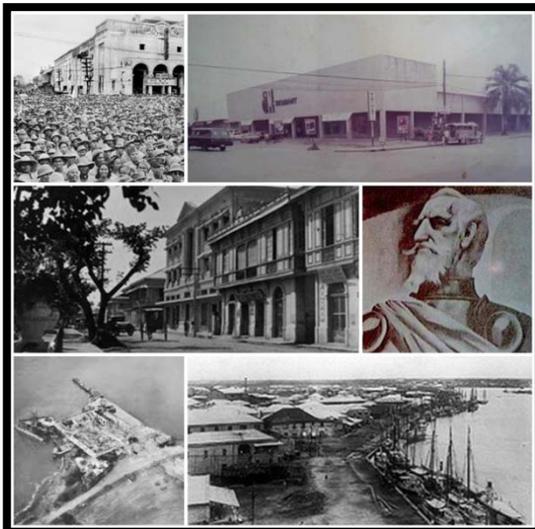
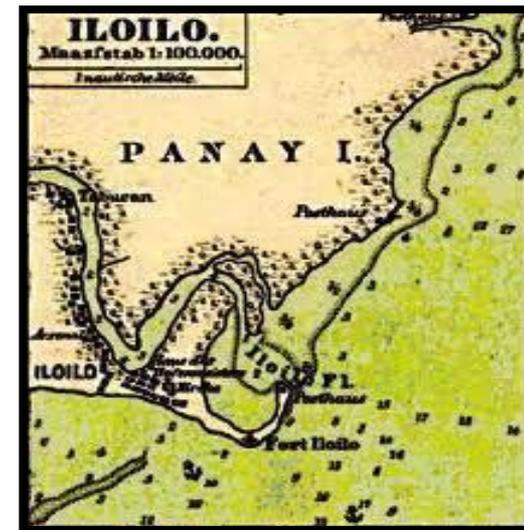
APECの開催を契機に都市の整備も進み、まさに名実共にヴィサヤ州の中心都市の一つとして更なる発展が見込まれています。



イロイロの最初の歴史はペドロ・モンテクラロの本『マラグタス(Maragtas)』に記録されています。マラグタスによれば、13世紀頃にボルネオでの圧政から逃れたマレー系の10人の領主(ダトゥ=datu)たちとその民が海を渡りパナイ島のサンホアキン(San Joaquin)という町にたどり着き、金の帽子やネックレスと引き換えに、先住のアティ族の王マリクド(Marikudo)からパナイ島の低地と谷をもらったという。ダトゥの一人パイブロン(Paiburong)はイロン=イロン(Irong-Irong、現在のイロイロ市)を受け取ったといいます。彼らの到着を祝う祭りが、イロイロで最大の祭「ディナギャン祭(Dinagyang Festival)」の起源と言われています。

1566年、スペイン人ミゲル・ロペス・デ・レガスピがセブ島からフィリピン征服を始め、マニラに向かって北上していた頃、その部下達がパナイ島に来てオグトング(現在のOton)に入植しました。ゴンザロ・ロンキーロ(Ronquillo)が支配下の地元民を保護・布教活動しながら総督となり、ここから長い間スペインの支配が続きます。

1581年、ロンキーロはモロ人の海賊やイギリス・オランダの攻撃を受け、町の中心をオトンから12km西に移し、スペインの故郷の町から名をとり、ラ・ヴィラ・デ・アレヴァロ(La Villa de Arevalo)と改名。1700年、オランダ軍とモロ人の攻撃はやまず、スペイン人植民者はさらに25km西にあるイロン=イロンの村に本拠を移しました。ここはパナイ島を蛇行する川(現在のイロイロ川)の河口で、地形的にも戦略的にも守りやすい土地でした。彼らはサンペドロ要塞を築き、攻撃への備えとしました。イロン=イロンは「イロイロ」に短縮され、天然の良港はやがて地域の中心となりました。



18世紀末、大規模な織物産業が発展し「フィリピンの染織産業の首都」とも称されたイロイロの産品はマニラや外国にも輸出されました。

1855年にイロイロ港が世界市場に開かれ、砂糖産業により好景気を迎えます。その時代にインフラ・教育などが整備され、金融機関や商社などが設置されます。当時の富裕層たちの豪邸が今でも郊外に残っています。

この頃にはホセリサルなどを中心にスペインからの独立運動の機運が高まります。スペインとアメリカの戦争もあり、マニラが陥落するとイロイロに首都を遷しました。

1898年12月25日、スペインはリベルタド広場(Plaza Libertad)でフィリピン革命軍に対し降伏し、フィリピン第一共和国の国旗が掲げられました。

その後、アメリカや日本による支配があったものの、独立後1960年代から1990年代にかけて、イロイロ市の経済は徐々に復興を遂げました。港の建設、企業からの投資によって、イロイロ市は西ヴィサヤの中心の地位を維持しています。

最後にイロイロの名前の由来ですが、市内を流れる川の形が「鼻」(タガログ語で「イロン=ilong」)の形に似ていることからついたのだそうです。



ILOILO AIRPORT



Iloilo Golf & C.C



Central Philippine University



MK EDUCATION International Language School



SM CITY ILOILO



SmallVille Complex



Iloilo Sports Complex



University of Philippine Visayas



Break Through

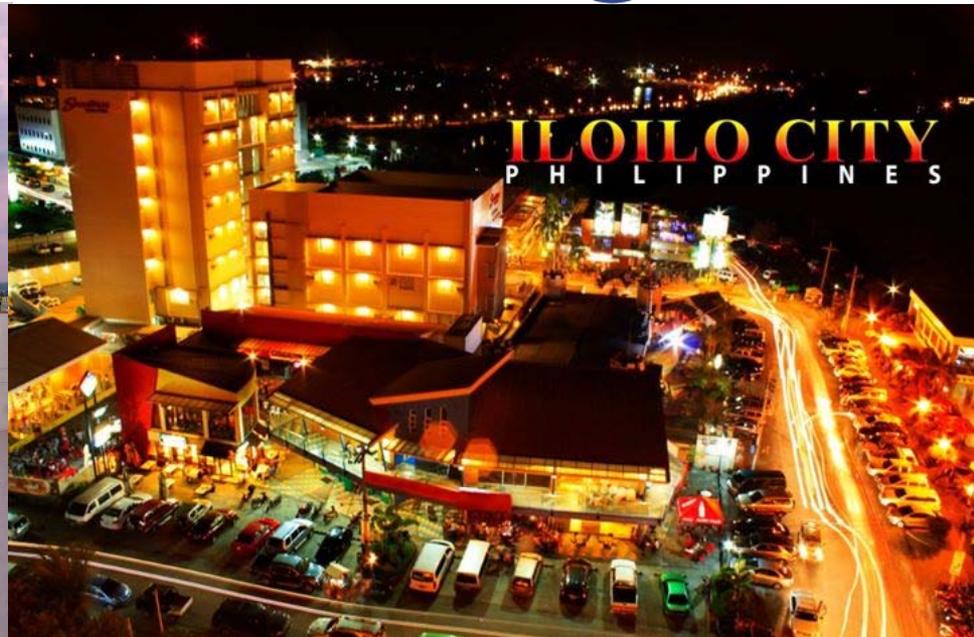


Robinsons Mall



Ortiz Port

ギマラス島へ



Iloilo City's Best Known – University



MK EDUCATION
International Language School

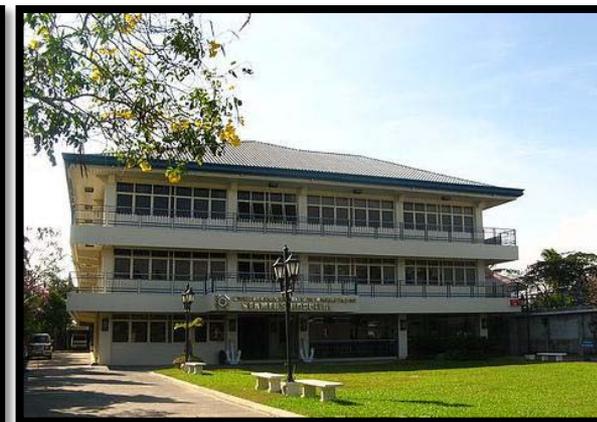
約40の大学・専門学校が集中するイロイロは、名実共にフィリピンを代表する教育学園都市です。
フィリピントップクラスの名門大学であるフィリピン大学(University of the Philippines)をはじめ、西ヴィサヤ州立大学(West Visayas State University)、フィリピン中央大学(Central Philippine University)、サンアグスティン大学(University of the San Agustin)などの名門総合大学が5つあり、2つの医学校と30を超える大学があります。
若い層の学生比率も高く英語のコミュニケーションの機会にも多く恵まれ、講師のレベルも高いので、英語学習にはこの上ない環境です。



フィリピン大学 ヴィサヤ校



セントラルフィリピン大学(CPU)



西ヴィサヤ州立大学

サンアグスティン大学



Moilo City's Best Known – Old Churches



MK EDUCATION
International Language School

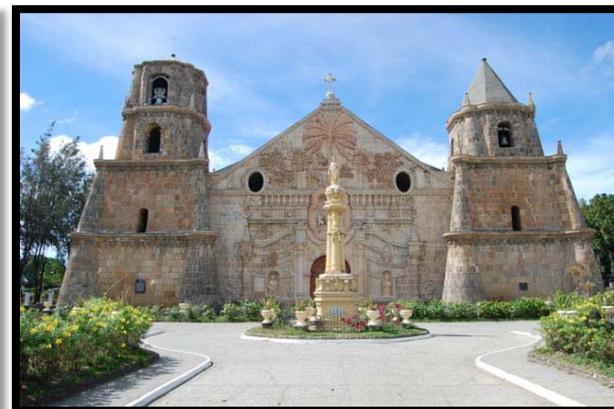
フィリピンは東ティモールを除けば東南アジア唯一のキリスト教国で、国民の約90%以上がキリスト教徒です。そのためイロイロにもたくさんの教会が建てられており、週末には多くの方が祈りを捧げにやってきます。多くがスペインの植民地時代に建てられた教会でルネサンス作りの様式です。フィリピンには文化的な建築物が多くは有りませんが、教会は1500年後半に作りはじめられ1800年後半にはほぼ全土に建てられました。構造や内部の備品は歴史的に貴重な物となっています。ミアガオ教会は、正式名をサント・トマス・デ・ビリャヌエバ教会といい、バロック様式教会群として1993年にユネスコ世界遺産に登録されました。モロ教会は、教会内の聖人像がすべて女性となっていて、この教会でお祈りすると恋人ができるそうです。ハロ教会は、MKイロイロからも近く、教会二階にある聖人像は「ロウソクの聖母」と呼ばれていて毎年2月2日にはその聖人を讃えてお祭り「ヌエストラ・セニョーラ・デ・ラ・カンデラリア」が行われます。



モロ教会



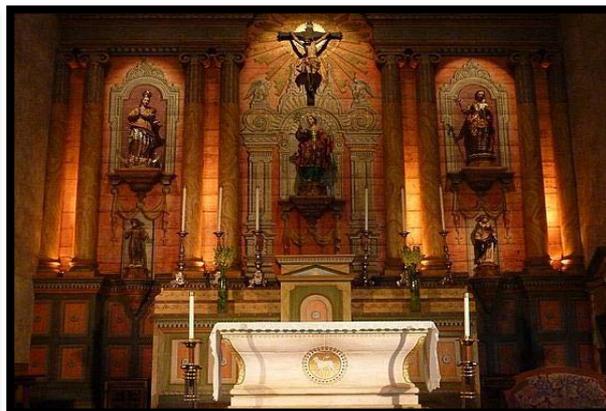
ハロ教会



ミアガオ教会



パヴィーア教会



サンタバーバラ教会



ランブナオ教会

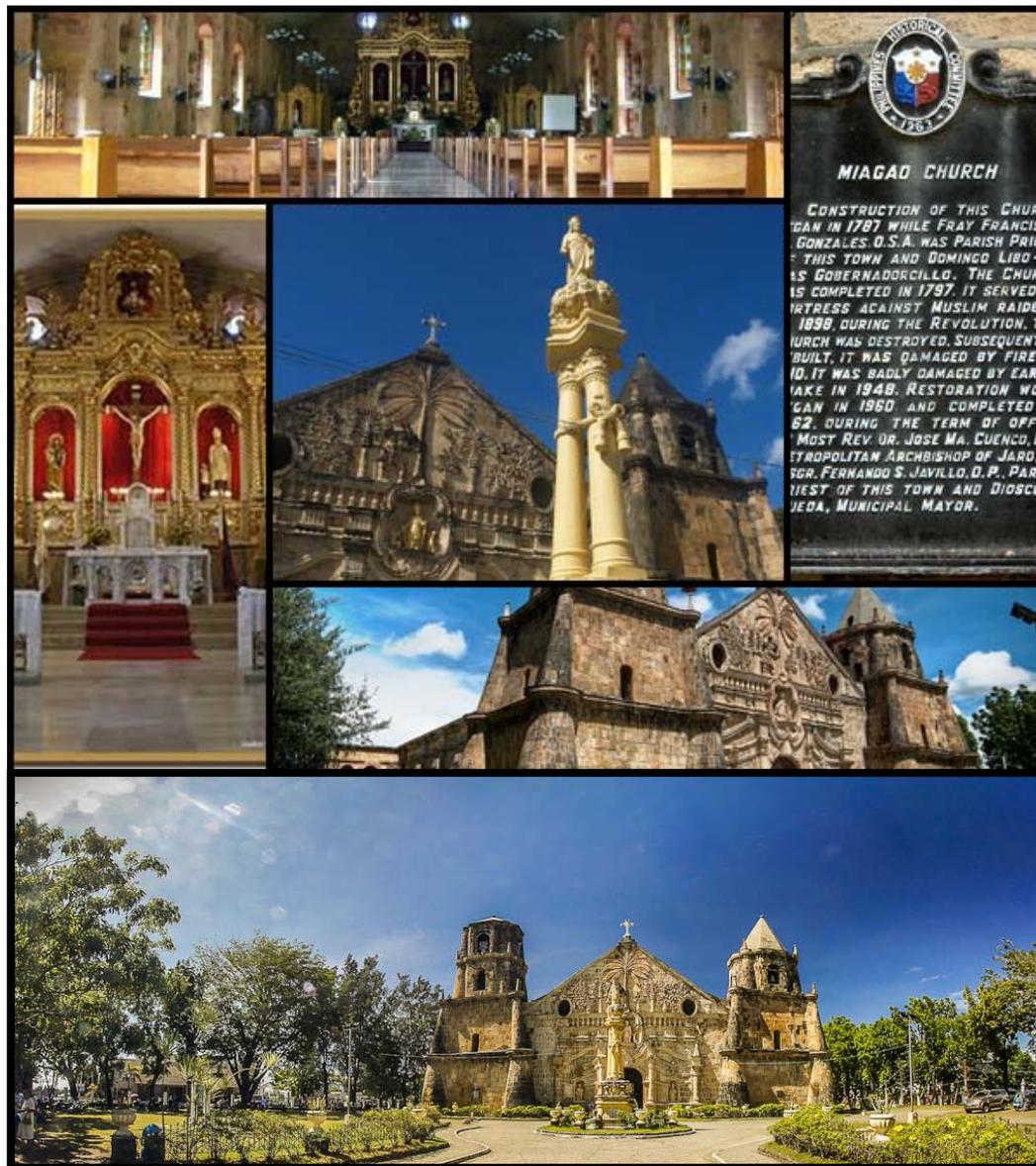
Miagao Church

正式名はサント・トマス・デ・ビリャヌエバ教会 (Santo Tomas de Villanueva) といい、フィリピンのバロック様式教会群として1993年にユネスコの世界文化遺産登録。スペイン統治時代の1787年に礼拝堂としてと同時に対イスラムの海賊用砦として建造を開始し1797年に完成しました。

建物正面は幼いキリストを連れたヨーロッパの聖人キリストファーとヤシやパパイヤ、バナナ、グアバなど木々のレリーフが全面に施されています。植民地時代の宗教芸術には珍しいようで、ネイティブなタッチを発散する唯一の教会です。フィピンではこの教会をアステカアートを連想させる”a unique explosion of botanical motif”で最もフィピンらしい教会と評し、歴史記念物に指定されています。

左右の鐘楼(塔)が非対称ですが、これには理由があって、建設開始当時指揮に当たったアウグスチン派のフランシスコ・ゴンザレス神父が途中で亡くなってしまい、後任者がオリジナル設計を変えてしまったからだそうです。内部の壁の一部はサンゴ砂を卵の白身で練って塗られたとも言われています。

火事や地震で何度か被害を受けていますが、鐘楼の巨大な鐘はひび割れ、時の流れを感じさせます。礼拝堂屋根中央に立つ十字架までは鐘楼から階段が通じているので歩けるとのこと。ただし手すりなどないので、海からの強風に十分注意が必要です。



Dinagyang Festival

イロイロは祭り行事で名高く、ユニークな衣装に全身を黒く塗り、熱狂的なダンスが1日中繰り広げられる「ディナギャン」祭りが代表的です。幼児のころのキリスト：サント・ニーニョを祀る謝肉祭であり、毎年1月第4週の土日のイロイロ市内は、色彩と音と群集が織りなす”Dinagyan g”フィーバーで、狂乱のるつぼと化します。

「ディナギャン」の源流は、イロイロと同じパナイ島北部の小さな町カリボ(Kalibo)での、アティアティハン(Ati-Atihan)という13世紀頃からの祭りにあります。13世紀半ば頃、ボルネオの部族ダトゥの10家族がボルネオを逃れ、小柄で黒い肌が特徴のアティ族の移住区であった北東のパナイ島へ辿り着きました。アティはダトゥに居住区を与え、その来訪を祝いました。新参者たちはアティ族にならない顔を黒く塗った…これがアティアティハンの起源とのことです。

ところが後年、スペイン人が上陸し、回教徒軍との戦いで敵を欺く為に居住者たちをアティ族に見せかけるべく肌を黒く塗り、戦闘用の衣装をまともされたことが功を奏してか回教徒軍に勝利を収めたとき、スペイン人はそれがサント・ニーニョの守護によるものだと説きました。これがアティアティハンに宗教的意味合いが加わった発端のようです。



イロイロのディナギャンも、かつては”Ati-Atihan in ILOILO”と呼ばれており、ディナギャンと改名されたのは1977年のことです。名付け親は地元の作家パシフィコ・スダリオ。

ダンスとドラムのメンバーで構成された平均100人前後の「トライブ」と呼ばれるチームは、前述の通り全身を黒く塗り、ド派手でユニークな衣装を身にまとい、市内数ヶ所の審査会場を巡りながら、ダンスとコスチュームで順位を競います。“Viva Señor Santo Niño.”という叫びが特徴的です。コンテストチームとは別に市民がそれぞれにグループを組織して、祭の1週間前から町中を練り歩きます。

ディナギャンに使用される楽器はドラムだけになるので、100人単位のグループから発する音量はけたたましい轟音です。

この時期にイロイロに来た際には、ディナギャンの街中を埋め尽くす大群衆の熱気と響き渡るドラムの轟きを肌で感じて頂きたいものです。



Iloilo City's Best Known – Festival



MK EDUCATION
International Language School

Paraw Regatta Festival

毎年2月の第3週末にイロイロとギマラス島の間の海峡で行われるレガッタレースです。カラフルなヨットは「Paraw」と呼ばれ、1212年ボルネオからの最初の入植者達が使用していたとされています。速さだけでなく、ヨットの帆のデザインも採点対象とされます。



Feast of Our Lady Of Candles (Jaro Fiesta)

毎年2月2日にイロイロのハロ地区で開催されるキリスト教の祭典です。「ロウソクの聖母」を祝う為に信者数千人がキャンドルを持ちハロ大聖堂に集まりお祈りしたり、この地区の家族は親戚や友人を家に招待して食事を振舞います。ハロ地区は西ビサヤ地方で宗教的な中心地と考えられていて、祭も規模が大きく華やかです。



Chinese New Year Festival

中国旧正月の行事で、イロイロ市内のイズナルト通り(Iznart Street)から、中国の民族衣装に身を包み龍と獅子舞と共に練り歩きます。午後には、ナイトマーケット、フードフェスティバル、花火などが行われます。



イロイロ名物スープ・麺料理 (パンシットモロ & バッチョイ)

Pancit Molo



パンシットとは麺のことで、フィリピンではどこでも食べられるメニュー。たまご麺のようなものやビーフンを使っていたり、さらに汁あり・なしで様々なタイプがあります。こちらのパンシットモロは小麦粉の皮で肉を包んだもの、すなわちワンタンスープです。

Batchoy



イロイロのラパス地区の名物麺料理。豚の内臓などをニンニクスープで煮た、味わいのあるのいわゆるスープのラーメンです。「TED'S」や「Deco's」というチェーン店やローカルレストランで食べることができ、カップ麺でもバッチョイ味があります。

Mango マンゴー

イロイロの隣のギマラス島はマンゴーの産地として世界的に有名な島です。ここで生産されたマンゴーは輸出用として海外(特にアメリカ)に向けて送られます。ギマラス島では管理が行き届いているので害虫がほとんど確認出来ないため、輸入する国としては信頼のおける安全なマンゴーとなりますが、残念ながら日本には輸出されていません。現地では1キロ200円以下で売られています。



Breakthrough

ヴィラビラビーチ沿いにある安くて美味しいシーフードレストランです。ロブスター、カニ、牡蠣(TALABA)、エビ、貝、魚などの新鮮な海産物に加え、レチヨンという豚の丸焼きなども食べられます。



Mang Inasal

イロイロに本社があるチキンバーベキュー専門の人気チェーン店です。竹串に刺さったグリルチキンとバナナの葉に包まれたおかわり自由のご飯(ガーリックライス可)と柑橘系のカラマンシー！べとつきも気にせずかぶりついてください。



Mango Tree

ローカルフードやメインにステーキが食べられるレストランです。綺麗なお庭でも食事することができ、庭の真ん中には店名の由来となるマンゴーの木があります。夜にはライトアップされ、とても雰囲気の良いレストランです。



Perri Todd's & Dos Maria Pizzeria

Perri Todd's - 4つ分以上はあるビッグバーガーとタワーサーバーのアイスティーで有名なお店です。味もGOOD。
Dos Maria Pizzeria - 32インチ=約80cmもある巨大なピザが有名です。1000ペソ以下の価格でパーティーなどには最適です。



Iloilo City's Best Known – Japanese Restaurant



MK EDUCATION
International Language School

異国での料理に飽きてしまい、日本のご飯が恋しくなる時は誰しも必ずあります。お寿司、そば、天ぷら、カツ丼、お好み焼き、ラーメン、etc
イロイロには日本料理が食べることが出来るレストランが何軒があるので、いくつか紹介します。※メニューや料金などは随時変更の可能性あり

Suehiro Japanese Restaurant



イロイロで最初に出来た日本料理レストランです。Sarabia Manor Hotel内にあります。刺身、寿司、天ぷら、すき焼き、鉄板焼き、焼き鳥、親子丼など様々日本食を味わえます。火・木曜はランチビュッフェ、水・金曜はディナービュッフェがあります。

Hamada Authentic Japanese Restaurant



Plazuela de Iloiloに出店している日本食レストランです。寿司、丼物、ラーメンなど何種類もメニューにあります。従業員の1人は10年間日本で生活していたそうで、日本語での接客もお上手です。野菜の天ぷら45ペソ、チラシ寿司250ペソ。営業時間 11am to 3pm 6pm to 10pm.

Mr. Misono



IZNART通りとGEN LUNA通りの交わるところにある、日本食のファストフードレストランです。店内の雰囲気やメニューの表示もファストフード店のようです。骨なしチキンに甘酸っぱい TERIYAKIソースを絡めてあるChicken WakadoriやおなじみSUKIYAKIが人気です。

Maki Japanese Restaurant



SmallVilleの入り口にあります。こちらはBento-Bento buffetと呼ばれる弁当でサーブされるのが特徴で、寿司や刺身、麺、スープ、天ぷら、肉、魚が弁当箱に詰められています。また、California Maki, FutoMaki, Crazy Maki, New York Maki, Spicy Tuna Makiなどの変り種もあります。

Namie Japanese Resto



フィリピン大学近くデルガード通りにある、日本料理レストランです。アラスカ、ノルウェーから輸入した新鮮なサーモンのお刺身などが食べることが出来ます。天つゆやテリヤキソースなどは日本の調味料から作られた本格派で、麦や黒糖など日本の本格焼酎が揃っている時もあります。

Ohana Japanese Restaurant



イロイロリバーサイドHotel Del Rioのプールサイドにある日本料理レストラン。マグロの刺身、ギョウザ (Japanese Dumpling), Japanese Cheese Sticks, Beef Teppanyakiなどを食べることが出来ます。営業時間 10AM to 2PM / 5PM to 10PM

EMILION



The Grand Dame Hotel3階にあるレストランで、ビュッフェスタイルで日本食を味わうことができます。ビュッフェスタイルなので、もちろん寿司、刺身、天ぷらなどがお腹いっぱいになるまで食べることが出来ます。火曜～金曜のランチとディナーが日本食ビュッフェです。

The Promenade Restaurant



Days Hotel Iloilo内にあるレストランで“MESHI”と呼ばれる日本食のビュッフェディナーがあります。寿司、すき焼き、天ぷらなどはもちろんのこと、鳥の南蛮漬け、茄子の蒸し物、じゃがいもサラダ、餃子など、見た目も美しく大皿にサーブされています。天ぷらコーナーは人気で常に行列。デザートも人気です。

RAI RAI KEN



SMシティ2階にある、フィリピンに十数店舗構えるフランチャイズの日本食レストランです。ラーメンを中心に寿司、丼もの、天ぷらなどがあります。ラーメンは塩、味噌、五目、坦々麺など馴染みのあるものから、バッチョイ、焼肉、フカひれ、ガーリックチリなど変り種のラーメンが食べられます。ラーメン140ペソ～

Iloilo City's Best Known – Place



MK EDUCATION
International Language School

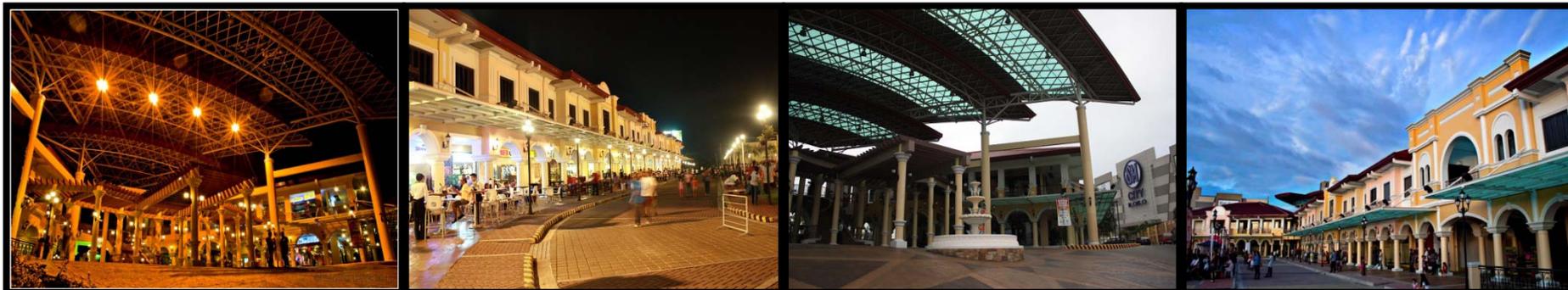
SmallVille Complex

スマールビルはローカルフードや韓国料理に中華料理、ピザやパスタなどのコンチネンタルフードなどの飲食店やバーやカフェ、クラブ、マッサージ、ビリヤード、カラオケなどの商業施設が立ち並ぶエリアです。観光客や若者、学生などに人気のエリアで、夜になるとDJやバンド演奏などで賑わいます。イロイロ唯一のナイトスポットです。



Plazuela de Iloilo

SMシティサウスポイントに位置するプラズエラ・デ・イロイロは、スペインやイタリアに影響されている外観やライティングなどが素敵なレストランモールです。お洒落なレストランで食事したり、ケーキやお菓子など甘いものを食べたり、スターバックスでコーヒーブレイク、ビールで喉を潤すことも出来ます。2010年にオープンし、店舗は増え続けています。



Massage, Spa, Nail

イロイロにはマッサージやサウナ、フィッシュスパ、ネイルサロンなどのスパ施設がたくさんあります。全身マッサージは1時間200ペソ程度からと、日本と比べると驚くような金額で疲れた体を癒し、心をリラックスさせてくれます。SMシティ、ロビンソンモール、アミーゴモール、スモールビルなどの商業施設内に多く見られます。



Spa Riviera



Nuat Thai



Anea Nail Spa



Tibiao Fish Spa

Sweets & Yummies

イロイロにはビスコチョコ、バエバエ、バルキーリョス、ピヤヤ、バタースコッチなど、有名なお菓子があります。「Deocampo」「BiscochoHaus」などはイロイロの有名洋菓子ブランドです。またケーキ、パン、アイスなど甘いものが食べられるカフェや洋菓子屋等が街に点在しています。

- ・「Carlo's Bakery Café」-MKイロイロ近くの食事も楽しめるベーカリーカフェ。Wifiも繋がります。
- ・「Dulgies」-オシャレカフェブルーベリーチーズケーキがおススメ 1ピース58~90ペソ。
- ・「Maridel's」Plazuela内のおいしいケーキ屋 チョコアイスケーキがおススメです。



世界一のリゾートアイランドにも選ばれる、地上最後の楽園

BORACAY

ボラカイ島はイロイロのあるパナイ島の北に位置するシブヤン海に浮かぶ離島です。長さは約7Km、幅の狭いところでは約1Kmしかない小さな島ですが、周囲はサンゴ礁に囲まれ、エメラルドグリーンの海が広がります。

1990年、BMWのトロピカル・ビーチ・ハンドブックの投票で「世界最高のビーチ」になり、2012年には、アメリカの旅行雑誌『トラベル+レジャー』によって「世界最高の島」と評価された、名実共に世界最高峰のリゾートアイランドです。

ボラカイリゾートの拠点である島の西海岸には「ホワイトサンドビーチ」と呼ばれる粉雪のように真っ白でサラサラの見事なビーチが約4kmにも渡って延びています。真昼の太陽の下で青い空、エメラルドグリーンの海、白い砂浜の鮮烈なコントラストが織りなす風景は、あまりにも絵はがき的で現実味に乏しい気さえするほどです。またここはサンセットビーチであり、夕方に白い砂浜がオレンジに時には真っ赤に染まる風景は、来た者全てを帰りたくないと思わせるでしょう。

透明度の高い美しい海でシュノーケルやダイビングを楽しみ、疲れたらヤシの木陰で眠るのも良い気分。

お腹が空いたらレストランで現地のチキンや魚を食べ、喉が渴いたらココナッツやマンゴーなどのフレッシュジュースを飲む。夜はビーチ沿いのバーで星空を眺めながらお酒を嗜む。ここボラカイにはリゾート地の全ての要素が詰まっています。



マンゴーと白砂に身も心も癒される・・・

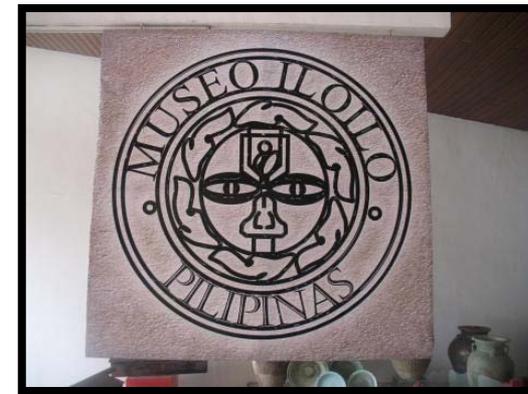
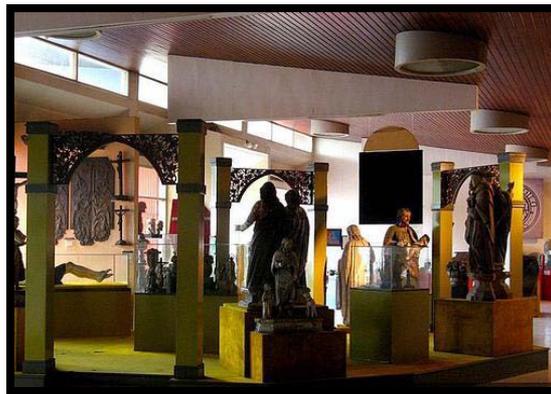
GUIMARAS

イロイロ市の対岸に位置し“Echanted Rock”として知られているギマラス島は、南北に約40キロメートル東西に約20キロメートルの大きさの島で、Jordan, Buenavista, San Lorenzo, Sivunag, Neava Valenciaの5つの自治区からなっています。ギマラスは世界的なマンゴーの産地として非常に有名で、5万本にも及ぶ**世界一甘いマンゴー**の木があります。毎年4月の第3週には**マンゴーフェスティバル**行われ、その時期に収穫されるマンゴーは大きくてよく熟れており、口いっぱい甘さが広がります。イロイロからはフェリーで20分程度の距離に位置しており、**白い砂浜とコバルトブルーの海**ではシュノーケリングやスキューバダイビングはもちろんのこと乗馬やサヴァイバルゲーム、バーベキューなども楽しむことができます。ギマラス島には騒音も静けさも存在しません。あるのは、ゆっくりと流れる時間と、明日も同じである日常です。



Museo Iloilo (Iloilo Museum)

イロイロの文化遺産が展示されている博物館です。規模は小さいですが、“過去への窓 (Window of the past)”という異名があるほど、収蔵・展示内容は多岐に渡り充実しています。スペイン植民地時代の文化や芸術はもちろん、パナイ島の歴史を示す化石や石器、アジア各国との貿易品、戦時中の遺留品などがあります。多数のイエス像や地元芸術家の作品も必見です。



Lizares Mansion

リサルマンションはイロイロ・ハロ地区にある代表的な建物です。イロイロで砂糖産業が全盛期の時にLizares-Gamboa家の邸宅として使用されていました。現在は、名門私立学校のAngelicum Schoolとして使用されていて、クリスマスの時期には何千ものライトで装飾された綺麗な光景を鑑賞するために市民が集います。



Iloilo Golf & Country Club

空港近くのサンタ・バーバラという地区にある、1907年開業のフィリピンで最も歴史のあるゴルフ場です。18ホール、パー70、6,061ヤード。マホガニーの老木に囲まれた起伏あるフェアウェイ。基本はメンバー制ですがビジターも利用することができます。なお、イロイロにはゴルフ練習場も2つあります。



SM City Iloilo

イロイロにある8つのショッピングモールの中で最大規模を誇ります。オープンは1999年、4フロア、面積は105,953㎡もあり、衣食住・娯楽も含めここで全てが賄えます。スーパーマーケット、フードコート、ファストフード(マクドナルド、KFC、JOLYBEEなど多数)、映画館、ゲームセンター、おもちゃ、本、家電製品、ドラッグストア、洋服、お土産、ポストオフィス、銀行、航空会社などが備わっています。



イロイロへの行き方 ~How to get to ILOILO~



日本(東京)からイロイロまでは、直線距離にして約3,300kmあります。

日本からの直行便はなく、フィリピンの首都マニラやセブ、また他のアジア都市を経由することになります。

日本からマニラへは、新東京国際(成田)空港、関西国際空港、中部国際空港、福岡国際空港、東京国際(羽田)空港から直行便が運航されており、3時間半~4時間程度で到着します。
マニラからイロイロまでは様々な航空会社の国内線が運行しており、1時間程度で到着します。

■フィリピン航空



アジアでは最も長い歴史を持つ航空会社であり、フィリピンでも代表的な航空会社です。
上記の国内5空港全てに乗り入れています。マニラ ニノイ・アキノ国際空港(以下「NAIA」)にはターミナルが4つあり、そのうちのターミナル2(T2)はフィリピン航空専用です。

■ジェットスター航空



今話題のLCC(格安航空会社)です。ウェブサイトからご自身でチケットを購入できます。
時々行っているセールを利用すると驚くほど低価格で購入できることがあります。成田、関西に乗り入れています、マニラへの直行便は関西からのみとなります。

■セブパシフィック航空



LCC(格安航空会社)でありながら、フィリピン航空を抜いてフィリピン最大の航空会社となりました。
ウェブサイトからの購入となります。成田、関西、中部に乗り入れており、NAIAではターミナル3(T3)のみの利用となります。

他にも「日本航空(成田)」「全日空(成田・羽田)」「デルタ航空(成田・中部)」などがマニラとの直行運航しています。

※また、他のアジア都市を経由してマニラへ行くことも出来ます。

- ・「エアチャイナ」「中国東方航空」「中国南方航空」を利用した北京・上海経由
 - ・「チャイナエアライン」「エバー航空」を利用した台北経由
 - ・「大韓航空」「アジアナ航空」を利用したソウル(仁川)経由
 - ・「キャセイパシフィック航空」を利用した香港経由
- などがございます。



マニラ空港について

正式名はニノイ・アキノ国際空港(略称: NAIA)。1~4のターミナルがあります。市内の中心部から南へ約10kmのパサイとパラケーニャの間に位置しています。かつては「マニラ国際空港」と呼ばれていましたが、ここで1983年に暗殺されたベニグノ・アキノ・ジュニア氏の愛称を冠した名称へ改称された、「フィリピンの空の玄関口」です。

ターミナル1:

様々な国際線の航空会社が乗り入れており、一番混み合っているターミナルです。「ジェットスター航空」「日本航空」「デルタ航空」などが乗り入れています。

ターミナル2:

「フィリピン航空」専用のターミナルです。国際線、国内線共に乗り入れています。

ターミナル3:

新しく完成したターミナルで、「セブパシフィック航空」「全日空」などが乗り入れています。

ターミナル4:

旧国内線ターミナルで、現在は一部のフィリピン系LCCの国際線、国内線が発着しています。



イロイロ空港について

2007年3月に完成した2,500mの滑走路、延床面積13,700m²のターミナルなどを有する国際空港。

フィリピン国内各地の他、香港とシンガポールへの便があり、フィリピンで4番目に旅客数(約132万人 = 2009年)の多い空港です。

以前はイロイロ市内にありましたが、旧空港を拡張することが困難なため、需要増に対応できないことから、イロイロ市の北西約20キロのカバトゥアンとサンタ・バーバラ地区に移設されました。

建設は日本の政府開発援助(ODA)によるものであり、日本とフィリピンの国旗が空港前面に掲げられています。



マニラ ニノイ・アキノ国際空港(NAIA)でのターミナル移動について

NAIAには1~4のターミナルがあり、ターミナル間を移動するにはタクシーが基本となります。
(フィリピン航空・セブパシフィック航空のみ利用して日本からイロイロへ入る場合は、国際線・国内線共に同じターミナル)

ジェットスター航空や日本航空、その他国際線の多くは、マニラ空港のターミナル1(T1)に到着します。
その後、国内線でイロイロへ向かう場合、T1からT2(フィリピン航空)orT3(セブパシフィック航空)orT4(タイガーエア・フィリピン)まで移動しなければなりません。

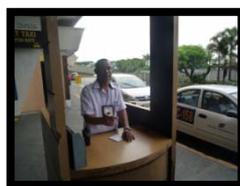
ターミナル移動には、AIRPORT TAXI(定額クーポンタクシー、メーターイエロータクシー)での移動をお勧めします。
到着ロビーを出ると左手にタクシー乗り場があります。「タクシー！タクシー！」と声を掛けてくる人がいると思いますがスルーしてください。

※なお、シャトルバスも出ていますが、満席になるまで出発しないことがほとんどであり、出発時刻は正確ではないため、よほど乗り換え時間に余裕がある時以外は利用しない方がよいと思われます。

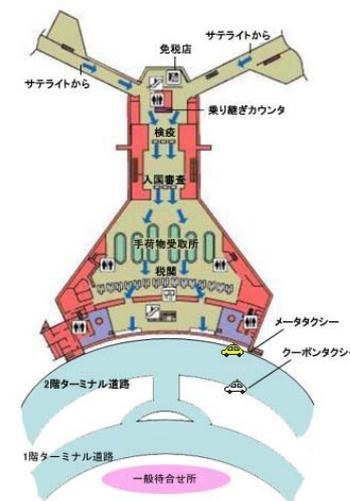
タクシー乗り場には受付カウンターがあり、行き先のターミナルと名前を係員に伝えると、番号の記載されたチケットを2枚渡されます。1枚をドライバーに渡し、行き先を教えてください。時間帯によっては渋滞することもあるのでご注意ください。

料金はおよそ150~300ペソ、所要時間15~40分程度となる予定です。

予め少額の紙幣を用意しておきましょう。



【タクシー受付表示板】



【T1詳細図】

■ Hotel

Amigo Terrace Hotel

Amigo Plaza Mall, Iznart St., City Proper, Iloilo City / 335-0908

The Centennial Resort Hotel

Phase IV, Marikudo Street, Alta Tierra Village , Jaro, Iloilo City / 320-2277

Jaro Bellevue Pensionne

Carter West Centre, Lopez Jaena St., Jaro, Iloilo City / 320-9521 to 23

Iloilo Business Hotel

Benigno Aquino Jr. Ave., Mandurriao, Iloilo City / 320-7972 to 74

MO2 Westown Hotel

Benigno Aquino Jr. Ave., Mandurriao, Iloilo City / 509-0202

The Grand Dame Hotel

Cor. Rizal - Huervana Sts., La Paz, Iloilo City / 320-5252

Iloilo Midtown Hotel

888 Yulo St., Iloilo City, 888, Yulo St., Iloilo City / 336-6888

El Haciendero Private Hotel

1177, Jaime St., Jaro, Iloilo City / 320-9460

Harbor Town Hotel

Cor. Aldeguer - J.M. Basa Sts., Iloilo City / 337-2384

The Residence Hotel

44 General Luna St., Iloilo City / 338-1091 to 93

Days Hotel

4th Floor, The Atrium, Gen. Luna St., Iloilo City / 337-3297

Casa La Granja

195 Lopez Jaena Street, La Paz, Iloilo City / 320-3473

Sarabia Manor Hotel

101, Gen. Luna St., Iloilo City / 335-1021 to 32

Century 21 Hotel

Quezon St., Quezon St., Iloilo City / 335-8821 to 23

Eon Centennial Plaza Hotel

Jalandoni St., Iloilo City / 337-2277

Highway 21 Hotel

Gen. Luna St., Iloilo City / 335-1840

Hotel Centercon

J.M. Basa St., Iloilo City / 337-3431 to 33

Hotel Del Rio

M. H. Del Pilar St., Molo, Iloilo City / 337-1171

Iloilo Grand Hotel

Iznart St., Iloilo City / 335-1801 to 04

La Fiesta Hotel

M. H. Del Pilar St., Molo, Iloilo City / 338-0044

People's Hotel

Fuentes cor. , Delgado St., Iloilo City / 336-1070

Chito's Hotel

De Leon St., Iloilo City / 338-1186

■ Hospital

Iloilo Doctors Hospital Incorporated

West Avenue, Molo, Iloilo City
337 7702 to 09

Iloilo Mission Hospital

Mission Road, Jaro, Iloilo City
320 0315 to 19

St. Paul's Hospital

Gen. Luna St., Iloilo City
337 2741 to 49 Local 2083 or 6317

■ Airlines

Air Philippines

Office in Iloilo City: General Luna St., City Proper (Near Tijuana Restaurant and Bar)
Contact No.: (+ 63)(33)3208048 / (+ 63)(33)3208049 / (+ 63)(33)5085513

Cebu Pacific

Office in Iloilo City: SM City Iloilo, Diversion Road, Mandurriao District
Contact No.: (+ 63)(33)3208017 / (+ 63)(33)3206889 / (+ 63)(33)3206582 / (+ 63)(33)3294660

Philippine Airlines

Office in Iloilo City: Diversion Road, Mandurriao District (Beside SM City)
Contact No.: (+ 63)(33)3203030 / (+ 63)(33)3203131 / (+ 63)(33)3207151

Zest Air

Office in Iloilo City: Martmart Mall and the New Iloilo Airport
Contact No.: Mobile: (+ 63)9178911049 / (+ 63)9173051038

■ Tourism

The Department of Tourism (DOT)

Bonifacio Drive, City Proper, Iloilo City
Landline: (033)3375411
Telefax: (033)3350245

Related Contact numbers:

Iloilo City Tourism Office: (033)337-2172/336-7572
DOT Information Center: (632)524-1703 (Manila)

MK EDUCATIONイロイロ校への留学に関するお問い合わせは

留学ドットコム (株式会社トリプルファースト)

〒171-0032

東京都豊島区雑司ヶ谷3-11-2 明治通りコバヤシビル5F



03-3986-2931 (平日9:00~18:00)

資料制作:



MK EDUCATION
International Language School